

平成 26 年度まちづくり懇談会会議録【六郷地区】

日 時 平成 26 年 11 月 20 日 19:00～20:30
会 場 文化会館アエル 小ホール
参加者 169 人

※「菊川市 10 年の歩みと今後のまちづくりに向けて」と題した説明のあと、参加者の皆さまとの懇談（質疑応答）に入りました。

※会場からのご意見・ご質問

●10 年間のまちづくりを振り返っての所感・ご意見

●地区自治会長

菊川市全体ではなく、六郷地区について話をさせていただきます。まず六郷地区の 10 年間というものを見ていきますと、先ほどの市長の話にもありましたが、地区センターが 3 つ、小学校、中学校、また工業団地の誘致もしていただき、他地域と比較するとハード面では充実した地域であります。また企業の進出に伴って青葉台のような住宅団地も整備していただいております。そういうなかで、高齢化や人口減少が最も顕著に現れているのではないかと思います。この六郷地区は様々な背景をもった人たちが集まっておりまして、菊川の縮図のようなどころだと思っております。この六郷地区では 3 つある地区センターを活用し、地区の定例会や他地区ではなくなってきました体育祭、地区センター祭り等の皆が集まる機会をなくさないようにしております。またコミュニティ協議会を立ち上げ、住民が相互にコミュニケーションを取りながら住みやすい地区を目指してやっております。そういうなかで、高齢化が進んでくると高低差の問題があります。また田んぼにしてもお茶にしても耕作放棄地も出てきてしまっております。今後はこういった課題に取り組んでいく必要があります。また、お子さんが地方へ出てしまっていて今までのように児童数が確保できなくなってきました。これからの課題として児童確保、空き家対策等も出てくるかと思っております。これについては行政、民間と協力してやっていかなければいけないと思っております。

○市長からの回答

落合自治会長から様々なご提言をいただきましてありがとうございます。さきほど落合さんからもありましたが、この六郷地区は菊川市の中でも人口が多

い地区であります。そして牧之原地区を中心とした茶業地域があり、青葉台を中心とした住宅街があり、工業団地もありということで、先ほどの落合さんの話にもあったとおり六郷地区は菊川市の縮図であると私も全くそう思います。そんな六郷地区でありますから、これからも自治会やコミュニティ協議会の皆さんで連携を取っていただきましてこの地域の活力をさらに高めていただきたいと思います。特に人口の話もしましたが、これからは市内 9 小学校すべての地域の活力を高めていきたいと思ひます。地域の皆さんやコミュニティ協議会の皆さんに人材育成をお願いしたいと思ひます。行政としましては、子育てをしやすい地域づくりや災害に強い地域づくりをするとか、あるいは地域医療を充実させるとか、これらが行政に課せられた使命だと思ひております。これらの課題を進めながら、地域の活力を高めながらこれからのまちづくりを進めてまいりたいと思ひておりますので、どうぞご提言をいただければありがたいと思ひます。

●五丁目上・男性

先ほど市長から 10 年の歩みについて説明がありましたが、この六郷地区は従来どおりという印象を受けました。ようやく六郷小学校のプール、体育館が完成するという話がありましたが、これからもっと六郷という名前がもっと出てくるような政策をお願いします。

●今後のまちづくりに関する意見

○「安心・安全」について

●地区自治会長

安全安心に関しましては日ごろから皆さんが意識を持って災害予防に取り組むことが大事だと思ひます。またどの災害においても弱者に「安心安全」が教授できる施策を講じていただきたいと思います。最後に災害、災難の過去の事例を基に研修、講習、広報を行なっていただきたいと思います。

○市長からの回答

まず先日の台風 18 号で多くの方が水害にあったということをお報告させていただきます。特に上本所の方々は床下浸水がありました。今回の台風 18 号では市内各地で浸水がありまして、改めて水の恐ろしさを認識したところであり、河川水域、菊川の改修について国土交通省と話しをしております。菊川の改修につきましましては、菊川は 1 級河川であり国土交通省の直轄の管理になります。これの対応につきましましては国交省に申し上げていきたいと思ひます。

次に弱者、大変重要な課題であります。障害者、あるいは高齢者世帯におきまして、避難補助が必要になるわけですが、民生委員さんとも協力し自主防災として地域のみなさまが力を合わせて弱者を守るということでご協力をお願いしたいと思います。

次に 3 つ目の情報発信につきまして、市の皆様にいろんな場で情報提供をさせていただいております。もちろん HP 等でも発信しておりますけれども、出前講座も取り扱っておりますので、声をかけていただければ職員が出向いて自主防災、地震や火災、あるいは土砂、河川等の災害につきまして話させていただきますのでよろしくお願いします。

11 月 24 日にはここアエルで「安全安心フェア」を行ないます。気象と災害についての講演会も行われますので、ぜひお越しいただきたいと思います。また広報きくがわでも防災活動や地震への備えについて取りあげてまいりますので是非ご覧いただきたいと思います。

また交通事故につきましても、最近が高齢者、あるいは子供の事故が多発しております。警察等の指導を受けながら道路整備、あるいは交通整備についても積極的に取り組んでまいりますのでよろしくお願いします。

●小出・男性

水害の話で、小出地区は今回の台風で湖みたいになってしまい、コンビニの出口が通れなくなって、反対側も水没してしまってどちらも通れないという事態になってしまいました。小出川用水を改修していただいているのですが、旭テックのあたりで詰まっているのかなど。是非拡張していただきたいです。

○建設経済部長からの回答

小出川は県管理ですので袋井土木の方で改修していただいております。今のお話にもありましたとおり、旭テックのところネックとなっております。土木からはその部分を注視していきたいという話をきいておりますが、何分隣に建物がありまして。これから地元の方や土木の方とも話し合います一刻も早く改修できるよう取り組んでいきますのでよろしくお願いします。

●青葉台 2 丁目・男性

先日、自治会の全国会議の中のパネルディスカッションで静岡県は防災に関する考え方が進んでいると褒められたのですが、各単位自治会の活動は充実していると思います。六郷地区は地区防災がまだできていなくて、市との連絡等

がうまくいっていないくて、市の安全課にも相談しているのですが、この場を借りて相談させていただければと思います。

○危機管理部長からの回答

各単位自治会におきましては自治会の大きさですとか、そういったもので活動が制限されたりですとか、自治体の規模によっては災害に対して不安がある地域があるというのは事実でございます。そういう中でですね、地区の連絡会を立ち上げていただきたいということで連合自治会の中で話をいただいております。そうした中でどうやって市としても連絡を取っていったらいいかという課題がありましたので、今年簡易無線機を購入しまして、その地区と各自治体を結ぶ連絡手段を作りまして活動していただきたいと思います。また連絡会を立ち上げていただく中で、その活動と結び付けていただきたいと思います。

○「地域医療」について

●地区自治会長

地域医療に関しまして、定期的な健康診断による早期発見、早期治療が大事だと思っております。その中で家庭医等の充実を図っていただいて、また健康な体作りの講習等をやっていただきたい。病気にかかれば医療費もかかりますので予防施策の充実を図っていただきたい。また菊川病院と個人医院との連携について説明していただきたいと思います。

○市長からの回答

1つ目の健康診断についてですが、市では毎年総合検診や婦人科検診、そして国民健康保険の特定検診等年に一回は検診を受けていただきたいということで案内を出しております。早期発見、早期治療というのは皆様の健康維持や医療費の軽減につながりますので、是非健康診断を受けていただきたいと思います。

2つ目の健康維持、予防についてですが、今年は菊川市制10周年ということで、聞きなれない言葉ですが、ロコモ予防に力を入れておりまして、健康教室だとかウォーキング、あるいは出前講座といった色々な今までにない取り組みをしております。そして各自治会に一人ずつお願いしております健康づくり推進委員の皆様にも色々とお無理をお願いして健康づくりの事業を企画していただいております。是非皆様も参加していただければ大変ありがたいです。そして来年度から健康マイレージ事業を実施します。これは日々の健康づくりの目標を達成できた場合にはポイントを付与し、一定のポイントを貯めると「ふじ

のくに健康いきいきカード」を発行して特典が受けられるというものです。是非自己での健康管理をお願いしたいと思います。

次に3つ目の地域医療についてです。菊川病院には25名の先生がいらっしゃいます。そして市内には25名の開業医の先生が勤務しています。合計で50名の先生がいるわけですが、この数字が多いか少ないかということですが、日本の人口10万人あたりの医師の数は220人でして、静岡県でいうと180人、菊川市は100人です。この数字をみれば市民1人あたりの医師の数が圧倒的に少ないです。ここ10年で開業医の先生がずいぶん増えてくださいましたが、まだまだ足りません。ではどうするかということですが、そこで考えたのがあかつちクリニックであります。今あかつちクリニックには5名の先生がおります。先生が増えてくれたわけですが、これにも限界があります。皆さんにはこれからかかりつけの病院を作っていただいて、慢性的なものは開業医、大きな病気は菊川病院ということで使い分けていただければと思います。あかつちクリニックでは在宅医療を行なっておりますので、これについても暖かく見守っていただければと思います。

●地区自治会長

市のほうから定期健診の話がありましたが、実際の受験者数はどれくらいでしょうか。

○健康福祉部長からの回答

国保の定期健診受診率については約33%程度です。

●下本所・男性

人間ドック等を除いた検診を受けていない方は市民のうち何%程度なのでしょうか。

○健康福祉部長からの回答

国保以外の検診については人間ドックやその他ありますけれども、手持ちの資料では回答できません。各担当課には資料がありますので、今回この場での回答は控えさせていただきます、よろしく申し上げます。

○「子育て支援」について

●自治会長

ママ友が気軽に集まれるような施設の開設、ママ友同士が交流できるような

場の開設をお願いしたい。また子育て中の親御様がどのようなことを期待しているか情報を得られる機会があった方がよい。

○市長からの回答

まず子育て支援センターがございます。また主婦が暮らしやすい街として高い評価を得たのが児童館であります。これは児童館の機能が非常に使いやすいということで高く評価されています。静岡新聞の「びぶれ」にも記事が記載されておりますので是非ご覧下さい。特にこの児童館、けやきにある児童館は年間約3万人、小笠の児童館も3万人弱、計6万人弱の市民のみなさんに利用していただいております。また昨年度子育てに関するアンケート調査を行ないまして、27年、28年度の施策に反映させていきたいと考えております。子育て支援につきましては重点的に取り組んでいきたいと全ての部局に指示しておりますのでよろしく申し上げます。

○健康福祉部からの回答

まず生まれる前からプレママサロンがあり、母子手帳を交付します。その後新生児訪問、適宜検診があり、それ以外のところでは児童館、子育て支援センターがあり、これらの機能が評価されております。また色々な疑問がありましたら出前行政講座があります。そうしましたら入園するわけですが、園には専門の先生がおりますし様々な面でサポートしていく体制ができております。

自治体としても今の子育て夫婦の意見をアンケートで調査しながら進めてまいりたいと思いますのでよろしく申し上げます。

●青葉台・男性

児童虐待、不登校の問題。不登校なんかは引きこもりに繋がっていったらという方たちの支援もしなければいけないわけですが、虐待や不登校に対する対応をどうしていくのか聞かせてください。

○健康福祉部長からの回答

市役所の中には福祉課に家庭児童相談所がありまして、民生委員や市民の方からの通報に対処しております。そういった中であまりひどいケースはまだないんですけども、そういった事態にならないように予防策として検診の際に聞き取り調査を行なっております。

○教育長からの回答

現在約35名の不登校児がおりまして、まずは病氣的なものなのか環境的なもの

のなのかを調査し、家庭訪問を行い学校と連絡を密にしていきます。また教育委員会の中にも不登校対策の相談員がいますし、また県の方にも不登校に対しての相談窓口があります。また病気に起因している場合は病院へ相談してみてもらっております。いずれにしても不登校になりますとどうしても長くなります。それが続くと引きこもりに繋がってしまい、その子の人生が台無しになってしまいますので、様々な面から引き続きサポートしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

(閉会：20:30)